

CAEを活用した角筒容器の成形技術の開発

目 的

EVをはじめとする次世代自動車では、航続距離向上のため電池容量の拡大が進み、電池ケースは大型化・複雑化している。その結果、工程数の増加に伴う金型費用や装置の大型化が課題であり、これらを解決するために、より高度な加工技術が求められている。

そこで、工技総研が培ってきた塑性加工技術へCAEを中心としたデジタル技術を適用して、最適な工程設計技術を確立する。

実施内容

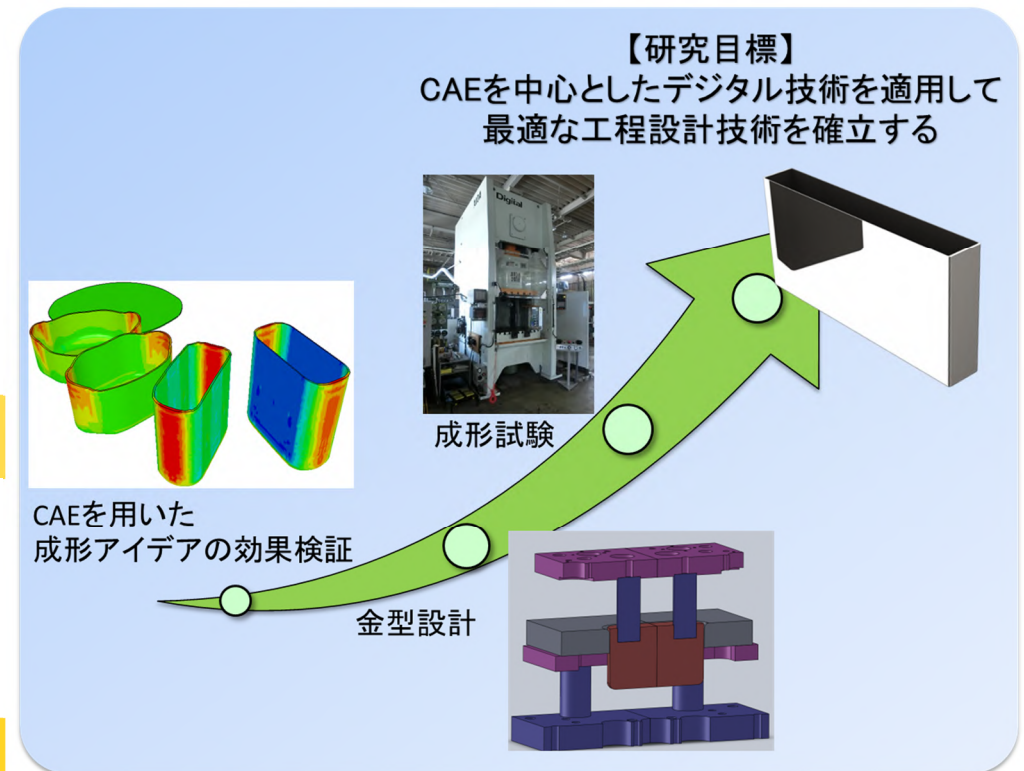
- CAEを用いた成形アイデアの効果検証
- 成形アイデアの具現化（金型設計）
- プレス成形試験による検証
- プレス成形技術に関する調査研究

実用化が期待される製品や分野

- 電池ケース
- プレス成形分野 など

【専門用語】

塑性加工：金属材料に力を加え、変形させて目的の形状に加工する技術
CAE：Computer Aided Engineering（コンピュータ支援工学）の略
製品の設計などをコンピュータ上で解析・評価する技術



【お問合せ】

新潟県工業技術総合研究所 技術統括センター 村木
TEL: 025-247-1320